

# 消防だより

令和3年(2021年)  
5月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950  
吉備金屋消防署 ☎52・5950  
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 13件  
救急 : 487件  
救助 : 2件

病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

## 災害時の発電機の使用について(注意喚起)

いつ起こるか分からない災害に備え、各家庭でさまざまな防災グッズを購入されているのではないでしょう。小型発電機を購入された方もおられると思います。

災害時に発電機などを使用すれば生活が便利になりますが、誤った使い方をすれば一酸化炭素中毒を引き起こし、最悪の場合死に至ります。事故を起こさないためには、「発電機を正しく使うこと」「仮に一酸化炭素中毒になっても早期に気づくこと」が大切です。



小型発電機排気部分

発電機の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。事故の防止のため、次のことに注意してください。

- ・屋内で使用しない。
- ・屋外でも風通しの悪い場所では使わない。

### ●一酸化炭素中毒の症状

- ・軽度/頭痛・吐き気・嘔吐・めまい
- ・集中力の低下・眠気など
- ・中等度または重度/判断力の低下・錯乱・意識消失・けいれん発作・胸痛・息切れなど

## 水難事故を防ぐ

毎年、川や海での水難事故が発生しています。これからの季節、川や海で遊ぶ機会が増えてきます。水辺でのトラブルは重大事故になりやすく、子どもの事故は「河川」で多発しています。

## 安全に楽しむために

- ・ライフジャケットを正しく着用する。
- ・流れが早い場所、深い場所は十分に注意する。
- ・ダム放流や、大雨による増水に注意する。
- ・保護者は、子どもから目を離さない。
- ・子どもだけでの水泳や水遊びはさせない。

## こんな時はすぐに避難を

- ・上流の空に黒い雲が見えたとき。
- ・落ち葉や流木、ごみが流れてきたとき。
- ・雨が降りはじめたとき。
- ・雷の音が聞こえたとき。

## 低圧進相コンデンサからの出火にご注意を!

低圧進相コンデンサは、業務用冷蔵庫やモーターなどを使用する店舗や作業場などで使用されています(住宅でも使用されています)。今年に入り、町内でもコンデンサが原因と思われる火災が発生しています。

コンデンサによる火災は、梅雨の時期から夏場にかけて多発しています。

す。出火原因のほとんどが長年使用したことによるコンデンサ内部の絶縁劣化により、発熱し出火しています。

## 異常があれば使用しない

次のような症状があれば危険ですので使用せず、早急に交換し、作業後は開閉器を閉じてください。

- ・異常な膨らみ
- ・異臭
- ・発熱
- ・穴あき、油漏れ

## 出火を防ぐには

- ・機器を使用しないときはメインブレーカーを切る。
- ・昭和50年(1975年)以前に製造された製品は、保安装置の内蔵された新しいコンデンサへ交換する。
- ・設置後10年以上経過したコンデンサについても早めに交換、または専門業者による点検を受ける。



破裂したコンデンサ